



地区広報

おやまた

第7号

62. 3. 25



威勢よく福豆・福もちをまく加富神社の節分祭

ひと足早く

福は内

さる三月一日(旧山田町の加富神社で、ひと足早

い節分祭が開かれ、大ぜいの参拝者でにぎわった。

ことしは三日が節分。当日が火曜日のためくり

上げて行ったもので、豆まきなど「福豆」「福もち」

で「福は内」を呼びこんだ。

この福もちは、婦人会や神社関係者の人たちが、

朝早くから作ったもので、紅白一

組のおもちと紙に包んだ真新しい

各種の硬貨を袋に入れたもの。

豆まきに先立って、今年の厄男

厄女が祈禱を受けたあと、ハッピ

姿の厄男たちによって拝殿から威

勢よくまかれると、集まった人た

ちからどつと歓声があがった。

おもな内容

- ②新生活運動の推進
- ③造成する内山町周辺
- ④声のひろば
- ⑥文芸欄
- ⑦老人会の奉仕活動
- ⑧この人尋ねて

小山田 躍動する 集・特

新生活運動・ゴルフ場や高層建築

地域ぐるみで

「生活改善」新生活運動を

推進しましょう

わたくしたちの暮らしは、金銭・物質面で生活水準が向上し、華やかな生活習慣がエスカレートしつつあると思います。

一方、省エネルギー・資源節約がさげば、これを契機としてみんなで生活改善を行う動きが出てきています。いわゆる「新生活運動」が各地で行われています。虚礼廃止冠婚葬祭等ムダな面を少しでも省いて簡素化しようということです。

小山田地区も、昨年より連合自治会が発起し、新生活運動に取り組んでいます。

まず香典返しの廃止から

各町には、長年にわたる慣習等があり、いまここで一挙に改善するには大変むずかしい問題があり、連合自治会では改善しやすいことから取り組むことにしました。その結論として、まず香典返しを廃止することになり各町で自治会を中心に話し合うことになりました。

新生活運動を進めるには、

「おしつけ」や「自治会で決めたから」では実現するものではありません。各家庭やグ

ループ・団体等で十分話し合っていただき理解・協力していただくことが大切です。

本年一月から実施の町も

本年一月から山田、六名、

バスを降り家路に帰るときふと西方を見ると、いままでは暗く近く山々がまるでシルエットのようにかすかに浮かんでいたのが、最近では美しい夜景が私を迎えてくれるようです。

あの小山田記念温泉病院ができてからの夜景は一変しました。

いつも「ワー、きれい」とまるで子どものように声を



小山田記念温泉病院

堂ヶ山の各町では、町内の香典返しは廃止することになり実施しています。

実施にいたるまでは、「果して守れるのか」「違反した場合どうするのか」等意見も

出し、美しい夜景を眺めながら近くに住むことのできるよろこびを感じながら家路へと急ぎます。

夜景を眺めて幸福感

山田町 矢田まさ子

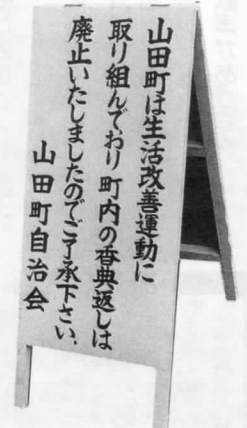
朝になると多くの人々が、遠方からはバスを利用してこの温泉へ来られ、活気に満ちています。一人でも多くの

出されました。が、当初の不安は案ずることなく町民の理解のもと、スムーズにいったおりま「廃止いたしましたので、ご了承下さい。」

小山田地区全

部が、まず香典返しの廃止で足並をそろえて、次の生活改善運動に取り組んでいける日

も近いと思われれます。みなさんの深いご理解とご協力をお願いいたします。



山田町の申し合わせ事項

の方々にこの「小山田」の名を知っていただくためにも本当にうれしいことです。

近所の人達も、誘い合っこの温泉へ行く姿が次第に増えてきました。

主人も体を悪くしてからはほとんど毎日のようにこの温泉を利用させてもらっています。

近ではあがるようになり、不眠症も治りつつありその効き目に驚いています。

一月も終り頃のある日、主人が「温泉のおかげで、十五年ぶりに友達と会うことができた」とうれしそうにその友だちを連れて帰宅し、なつかしい昔話に時間の経つのも忘れて話していました。

現在名古屋に住んでいる私の母は小山田がふる里です。

以前母はよく昔話を聞かせてくれました。

昔は小山田には狐や狸が住んでいて、母も化かされたこ

とがあつたそうです。だからその周辺の地名も「狐」と現在も残っています。だが近年ではいろいろの開発や環境の変化に驚いて、狐や狸さんの住みかが失われどこのお山に引越したのでしょうか。

病院の近くには環境を生かしたいいろいろな施設があります。「いこいの広場」「牧場」「ふれあい動物園」など、暖かい日には動物好きな孫を連れて、これらの施設へ遊びに行きます。

いま近くの梅林には一面に花が咲きとても美しく、小山田の里に春の訪れを告げています。今夜もまた温泉病院の一つひとつの窓の灯が光り輝き、すばらしい夜景となつて遠くからでも眺められること

でしよう。

誇り嬉しく

今日も住む

ゴルフ場造成

ええところになるなあ！ 山肌を見せた内山周辺

内山町 矢田 哲



昭和六十一年度。それは内山町にとっては忘れることのできない年であり、内山町始まって以来のできごとのもありました。

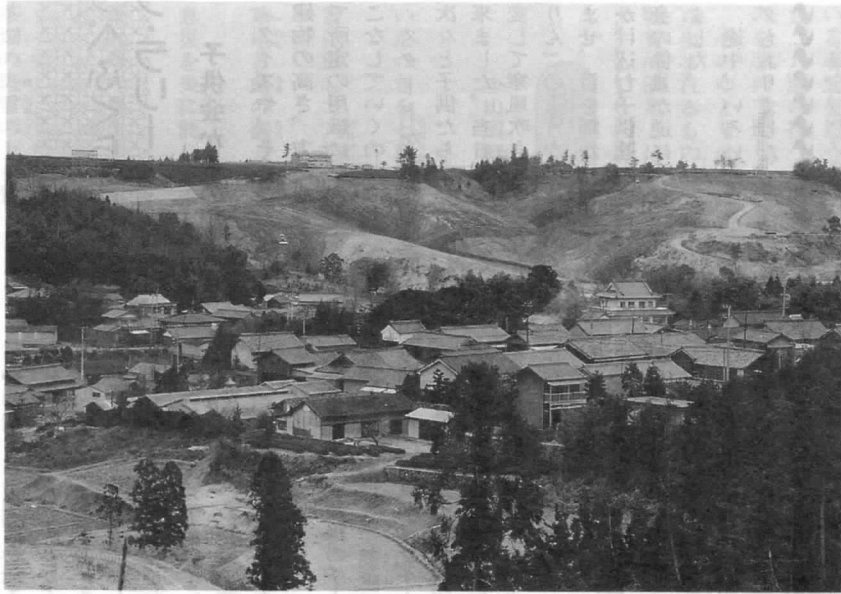
明るい春の訪れを告げる朝日のさす窓辺で、歴史に残るこの年を回想してみました。

先づ永年自治会長として町民はもとより、地域のために日夜ご尽力いただいた現職の矢田善衛氏の病死であった。

今日の内山町周辺の変わり行く姿を見たとき、その人柄と偉大な功績にあらためて惜しまれる気持ちが日毎につつて来ます。

当初の頃、思ってもみなかった今日のような構想が、初めての役員会で出されたとき「夢のような」の言葉を連発していた氏の姿はもう見ることができません。みんなが本当に出来るのだろうか、と半信半疑で耳にしたことを忘れません。それほどまで規模の大きな構想が、二百五十年続いたソッポコ谷のこの内山町に降って湧いた話題であった。

大型重機の響き高らかに
夢の開發いよいよ着工



ゴルフ場に囲まれた内山町の集落

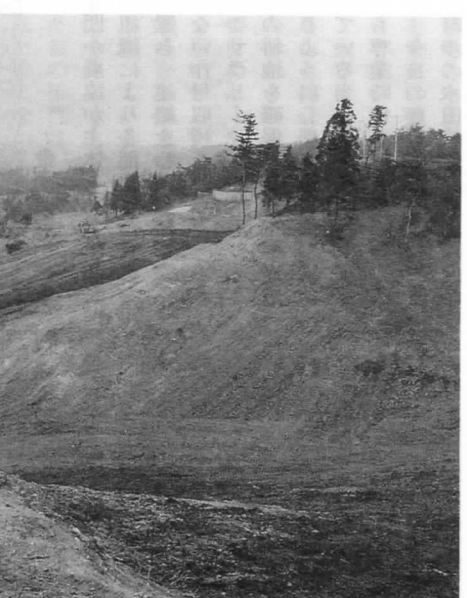
いま内山町周辺の山々は夢のような開発が着々と進められ、近代重機の音が響き渡っています。

松くい虫にやられて、天に拳を突きあげているような松の枯木や竹林が次々と取り去

られ、裸体となった丘陵に形の良い雑木や松林が残され、小さなくぼみや丘がなされて美しい景観が日に日にゴルフ場としての姿に変わって行きます。

通称「八兵衛野」と呼ばれ

る北の道から眺めた内山町周辺の景色は、なるほどゴルフ場に最適な美形です。通称「城の山」の畑地は「ええところになるなあ！」と地元民でもその変わりようにびっくりしています。恐らくゴルフ場のメインになることでしょう。



かつての面影は今はなく造成が進む周囲の山々

また小林町に隣接する通称「きよ谷」は荒れ果てた汚い谷であったが、三重県環境事業団の処分場として工事が進められています。

滝の谷と呼ばれて、かつては内山町の人々が憩いの場として遊んだ滝のあたりは、いま浄化施設の建設が進んでいます。

数年前初めて会った事業団の職員の人々とも、すでに顔なじみになり、その仕事ぶりに地元民も非常に好感を持ち当初恐る恐る話し合ったのが嘘のようです。

懐かしい昔の面影

消える姿に哀愁の気持

再び戻らないかつての自然の姿を眺めていると、哀愁の気持ち湧きあがってきます。

四日市市の一部として過疎地の感があった内山町も、いまや市の西南部に位置する唯一の名門ゴルフ場に変身するの目前です。まさに田舎娘から超一流の貴婦人に生まれ変わろうとしています。

また景色もさることながら北部一帯の水路等の整備。長

年の懸案であった内山十号線も拡張整備され、十八本の外灯が設置され通学にも非常に便利になります。

こうして二百五十年の歴史を持つ内山町の大変革にも、冷静に対応して新しい時代の波に対応できたのも温暖な気候と純心な住民の対応、それにいまは亡き前会長はじめ、旧古老たちの郷土愛のたまものであろうと思います。

関係各位の協力と、温厚な住民の方々の協力で新しい環境づくりが進められています。

出るか内山温泉！

関係筋によると、温泉採掘

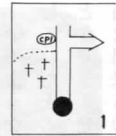
の話も進んでいるようで、近く「内山温泉」の誕生を見るのではないかと期待されています。

一時的に赤くなった山肌も六十五年頃には緑あふれる山並み、魚がうようよしていた天白川も鮮緑の芝生に野兔がはねて、早朝よりきじの鳴き声が青天に響く日を住民一同待ち望んでいます。

春はもうそこまで来ています。今日も明日に向かって工事の音が高らかに、工事の安泰と最後に町民一同と共に、鬼籍に入られた矢田善衛さんのご冥福を心よりお祈りします。

寒風について

りんごのほっぺふくらませ ウォーク・ラリー



上の図をごらん下さい。黒マルは、いま自分が立っているところ

です。比較的大い道路を少し進むと左側に墓地があります。図は、墓地を表わす記号です。その向こうに……できわめて細い道が示されています。この図は、そこを右に曲って進みなさいと指示しています。

「ウォーク・ラリー」は、このような図をいくつか書いた一枚の紙をたよりに、目的地まで一定の時間内に到着するゲームです。

去る二月二十二日、小山田地区子供会は約百六十人の子供たちが参加して、この「ウォーク・ラリーゲーム」を行いました。

午前九時三十分、三人五人がチームを組んで、二分おきにスタートしました。途中近道をしないようにいくつかのチェックポイントがあります。図のCPは、一番目のチェックポイントです。チェックポイントでは、立木や民家の壁に取りつけられた課題

子供会からの報告

(クイズや、そこから見える建物の高さ、方角などを答えて所定の用紙に記入する)をこなしていくのです。

スタートから約一時間、次々と子供たちがゴールして来ました。当日は、暖冬が一変して寒風吹きすさぶなか、りんごのようなほほをふくらませ、目を輝かせてゴールにかけ込む子供達の姿に、育成会の係員が逆に勇気づけられました。

途中、いろいろなハプニングもありました。どう地図(コグ)もありません。

地域の発展と

二つのおねがい

六名町 一 主婦

日進月歩の今の世の中、移り変わっていくその姿はめざましいものがあります。そうした中で小山田地区は市内でも最も広域な地区だそうです。

近く開発等の話を耳にしますが、地域発展のためよろこばしいことと思いますが、ここで私の住む六名町の足元を見つめ、感じた次の二点につ

マ地図といえます)を読みまちがえたのか、コースから外れて歩いていくチームがあります。止むを得ず係員が大声でコースに呼び戻す場面もありました。チェックポイントをぬかして、大あわてで前のポイントを探すチームもありました。

十二時半頃、最後のチームがゴールしました。かかった時間の平均に近かったチームに最高得点を与え、チェックポイントの課題の成績を加えた総合得点で順位を争いましたが接戦、また接戦の楽しいひとときでした。

子供は風の子といわれますが、最近では塾通いのスケジュールに追われる子供、テレビゲームで屋内にとじこもる子供が多く、戸外で遊ぶ子供の

姿が少なくなりしました。そんな子供たちにたとえひとときでも戸外でゲームに興じることは、大きな意義があると考え、毎年行っている行事です。来年はもっと多くの子供たちの参加を期待しています。

とした標識がなく、つい見過ごしていきまます。特に夜間など他市からの来客者が困っております。ぜひ進入口に道路標識と夜間には道路照明などとして、安心して六名町へ来られるように。

声のひろば

浪費を少なく

もうかる農業に

堂ヶ山町 奥村武雄

小山田地区にも開発のきざしが見えはじめ、工業団地の造成と医療業務の施設が出来たことは喜ばしい次第であります。

今後農業経営が変わって行く事に対処しなければなりません。専業農家、兼業農家、サラリーマン、商業と本腰をすえて取り組んで行く事を考える。

水田農家については、二、三反程度の耕地を維持管理する方法については、公的事業

町からの道路が、その進入口にはつきり

の進入口には現在小さな標識板を立ててありますが、いづれも小さく古くなっているので新しく取り替える予定で計画中心。

◆町内の照明を◆
現在町内には外灯の設置はありませんが、できればもう少し増やし明るく夜間でも安全な町づくりをしてください。
現在では百姓の時代は過ぎ科学の時代です。土地開発の進展とともに「職・住近接」を大いに望みます。
この件について、六名町自治会長さんに伺いました。
自治会長談
ご指摘のように、三カ所

団か農協が主体となって請負組織により各部落に請負班を置き、連絡をし農家に不安のない作付収穫を行う。
サラリーマンの人も親譲りの耕地を確保しながら、働けるようにし農業委員会の進められている当小作を普及し、何事も専業時代を迎えている。
今日の農業は進み二、三十町歩の水田耕作は五名程度の

組織で行われる時代であり、不必要な機械の購入や浪費などを少なくし、もうかる事に心掛けてほしい。
今後の生活様式は各自が専業に励み人生の将来の見と出しの出来る、サラリーマン生活、智恵と健康な体力をもって自主自律の精神を養い世界の中の人達よりすぐれた人間を造り上げる事に努力してほしいものです。

心のゆとり

心のゆとりというものは、人間関係において非常に大切なものです。

心のゆとりとは、結局、相手する人を思いやる余裕であります。隣人に対する思いやり、全体のことを考える心のゆとり、豊かなら豊かなように、乏しければ乏しいように、それをみんなで分かち合う仲間意識が必要です。

相手の立場にたって考えるということが、簡単なようでいかに実行しにくいかは、日常生活における大小さまざまな争いを通して、我々は身にしみるほど知っています。親子の間、夫婦の間、嫁姑の間、隣人の間で、思いやりのほんのひとことが欠けているために、互いを結んでいるきずな

がしだいにゆるみ始め、気がついた時は、手のほどこしようなない状態になっていたという悲劇が、過去を通じていくかに多く繰り返されてきたことでしょう。

誰しも自分の言い分を通したい、自分の生活をまず第一に考えたい、人間とはそれほどに、利己的な存在です。自分の今ある生活を確保するの、過去にわたっていか

鹿間町 萩 伸子

に多くの他人の助けを借りてきたか、そんなことを考える余裕もなく、目先の願望にのみとらわれて無意味な争いを起こしてしまふ。しかも今日のように文明が発達し、一世紀前には想像も及ばなかった快適な生活ができるという時代に、かえって争いが増している事態を思うと、人間の弱さ、人間の持つ矛盾というものを改めて感じざるをえない。

心のゆとりは心の豊かさから生まれるもので、必ずしも物質的満足とは並行しない。

俳句

小山田軽費老人ホーム

俳句同好会

いたつきを七草粥に念じけり 蘆生

雪化粧して大枯木見直さる 道子

草筆る露の臺一つ残しけり 道子

息災を炎に託しどんど焼き 高橋

葉牡丹の奥まで光るしぐれあり 松岡

茶畑の斑雪の上を驚一羽

真の豊かさは、人間を見る眼、社会を見る眼がひらかれた時より徐々に培われていくもので、これには長い年月を要すると思います。

人間に対する理解を深める第一歩は、他人に対して興味を持つことでしょう。

それは、あら探しの好奇心からくる興味ではなく、「他人も自分も同じ社会に生きる人間同志ではないか」という暖かい連帯感が、相手に呼びかけずにはおかないという、自然発生的な興味です。

複雑な社会において、我々が自分自身のよりよい生活を営むためには、互いに手をとって合っていかなければならぬのだという共同意識に目覚

めた時、自分の周囲の人びとがどのような考え方をしているかを知りたくなるのは、当然のことではないでしょうか。人間と社会に対する眼を養う手段として、私は「歴史」というものにいまさらながら心がひかれます。

自己の向上のためには、常に自己反省が必要であるように、我々人間のこれからの歩みを考えるにあたって、先人の生きた道を振り返ってみることは、非常に意義深いことだと思います。なぜなら、現在の自分が過去のさまざま要素の積み重ねであり、将来はこの現在を土台としてできあがっていくように、人間の歩みもまた、過去―現在―

私詩

山田町 矢田春美

明治堅気の母に育てられた私何事も堅苦しく考え過ぎて窮屈に生きてきた。周りの目ばかり気にして、自分の意志のままに行動出来ない。

そんな自分が嫌になり、新しい時代の生き方を真似して見ても、やはり自分に似合わない自信の無いまま過ごして私。

お国のため、家のためと云う教えの中で大きくなった私

未来とたえず流れていることを史実は明確に語っているからです。

大学生生活に別れを告げ、四月から社会人となりますが、人と人とのふれあいに最も重要なのは「心」であり、「相手」を思いやる」という小さな心遣いを私は大切にしていこうと思っています。

私たちの年代は、いま此の恵まれた世になってもまだ心のどこかにその考えが残っているのではないのでしょうか。寿命も延びた今日、余生は自分のために生きたいものと考えております。

短歌

山田町 矢田敦子

残留孤児より 遙なる海の彼方の大陸に 父母を恋ひ侘ぶ孤児あまたあり

ベートーベンの運命より ひびき来るベートーベンの「運命」は 奇しき力で我を慰む

鈴鹿の嶺雲より 鈴鹿の嶺が墨雲に 隠る時かな雪は降りけり

川柳

山田町 矢田春美

鬼は外自分へ思い切り投げける 影武者が私の前へ行きたがる



高齢者教室



きめ込み人形づくり



新春囲碁大会



生花教室



スナップ

61年中の降水量はなんと185センチ 自宅で測り続けて二十五年間

六名町 田中弘治郎

小山田方面の昨年(六十一年)の降水量総計は、なんと人間の背丈より高い一八五センチ

ンチメートルも降りました。これは私庭で空き缶を利用して、物指しで降水量を測ると



田中弘治郎さん「簡単な方法ではありますが、根気」と習慣による結果であった。わたくしは、こうした方法です。すでに二十五年

61年中の小山田方面での天候日数と降水量

	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
晴	29	17	23	20	20	19	16	28	19	24	20	24	259日
曇	1	4	2	5	1	4	1		8		5	6	37日
雨また は雪	1	7	6	5	10	7	14	3	3	7	6	1	69日
1cmの雨の 日以上	3	8	6	7	10	8	15	6	12	8	6	8	96日
降水量	8	8	157	253	393	323	311	51	84	132	43	86	1,855mm

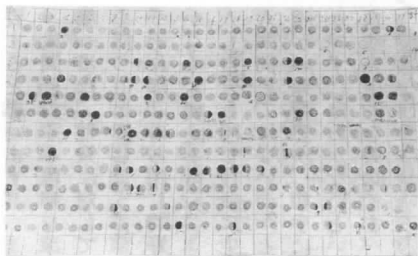
備考

調査場所 六名町地内

調査方法 一日の天候で晴・曇・雨等に変化しても正午現在の天候とする。

降水量は午前六時に計測する。

(資料提供者 田中弘治郎氏)



記録されているお天気表



間も測っています。

昭和三十七年に、六名町地内に公共水源が建設されるに際し、その掘削による水位の変化を調べることを市より依頼され、自宅の井戸水の水位の変化と合わせて毎日の天候・雨量の降水量を一定時間に定めて測っています。

こうした記録は、月日の経過と共に当時の天候や気象状態など非常に参考になり、今後も続けていきたいと思っています。

上の表は昨年一カ年間の月別天候日数と降水量を示したものです。

◆凶相印◆

私は凶相印(印章業者の言う)を大切に使用しています。

これは私が学校を卒業するとき、記念につくったものです。

その頃もう六十年近く前になるが、山梨の甲府から印章屋が学校へ来たとき、水晶の印材で文字は自分で考案デザインしたものを注文した。

山梨は水晶の産地で、結晶の美しいのと堅いので広く知られ用いられていた。

近年、新聞、雑誌、折込みなどで吉相印と名付けた広告が目につく。それによると凶相印とは四角印、小判形印、文字や枠の欠損したもの、斜め彫り等々。印材は象牙、黒水牛、つげ材の三種類が吉、他は凶とある。字形は曲りくねったもので枠に接していなければならぬという。

そうすると私ののは、水晶で四角で印字は直線であり、みな凶である。でもこれを使用することには水晶の光沢、持った感触、文字の明りょう、何とも言えない良さがある。私はこの印鑑が大好きだ。宝である。ときどき

銀行でも「良い印鑑ですな」とほめられることがある。

近年までは、開運吉相印で聞いたこともなかったし、字形や印材は自分の気に入ったものを選べばよかったし、小判形や斜め彫が多く使われていたものです。

つれづれなるままに

鹿間町 島橋 康男



印相易者は、四角印が駄目だと言うが公印はすべて四角書画の落款も四角、これらが丸印だったのだらう。私も感じが悪。日本の国書も天皇の御璽も四角なのだが。

ふるさとは遠くにおいて思うものと、私は彼に故郷の移り変わりゆく有様や、在郷の友の近況など葉書一ぱいに書いて送っている。さぞ懐しく読んでくれるものと思っているが、彼からは葉書の片隅に郵便局そなえつけのゴム印が一つ押しただけ。彼の近況はさっぱりわからない。ここへ何か書いてくれたらなああと広い余白を毎年寂しい気分で眺めている。

その二 毎年師走になると「喪中につき……」の葉書が何通か来る。

私は返事として賀状の代わりにすぐ悔状を年内に届くように出しているが、「誰がいつ」か書いてないのがあって困ることがある。

またその年の一月や二月に喪に入った人から、十二月になって喪中の通知が来るが、三百余日も服喪している人はないだろう。

こんどの高松の宮さまについても、天皇陛下や皇族方は三十日、喜久子妃は九十日喪に服されるそうだ。

日の浅い人は別として、かなり日の過ぎた人は普通の賀状でよいのではないかと思います。

◆年賀状二題◆

その一 私には、北海道に住んでいる友人がいる。もう六十年余りも会っていないが、年賀状は毎年出して合せて生存を確かめている。

焼きものをつくる楽しさ

陶芸教室に参加して

山田町 伊藤江美

ふだん何気なく見たり使ったりしている陶芸品。こうした焼きものを自分の手で作り出す機会に巡り会え、体験した思い出を記してみました。毎年七月頃になると、市民センターで陶芸教室が開かれその教室に参加させてもらっています。

物をつくる楽しみには夢があります。まして焼きものとしての土をいじるのは初めての体験です。教えていただく

先生は、これまた陶芸家として広く知られている先生です。先生からひと通りの説明を聞き、何んでもよいからできるだけ大きなものを作りなさいと言われるが、一応つくりたい作品を事前に考えてきたものの、材料として配られた粘土の塊りを前に思案顔。

土を丸めてみたり、延ばしてみたり。作りかけては壊し、壊しては作りまさに「さいの川原」です。

でも時間の経過とともに、自分ながらの作品ができあがってくる。あの土の塊りからこんなすばらしい作品ができたのかとわれながら悦に入っている。

期待感のあふれる窯出し光景(才山窯にて)



こうしてみんな思い思いの作品ができると、約一週間程自然乾燥をし、その後素焼きにして

いただく。

後日素焼きのできあがりと共に絵付け作業です。この絵付け作業とは焼きあがった素焼きにいろいろな上薬をかける作業です。上薬のかけかたで出来あがった作品の感じを左右するだけに大切な作業です。

だが薬の色と焼きあがった時の色は全然ちがいます。黒色の薬が赤色になって焼けたら灰色の薬品が白色に変わったりするからです。

老人クラブ 草刈りや樹木の剪定など 意義のあつた奉仕活動

山田町 矢田信夫

昔から人生わずか五十年といわれ、六十才の還暦祝をする人は長命で、七十才の古稀の祝を迎えることは「人生七十古来稀なり」と非常に少数だったのです。

しかし戦後四十年日常生活も改善されて、粗食からの解放と医療技術の向上によって昭和六十年頃より、人生は八十年時代を迎え、世界第一の長寿国となって老人の果たす役割は、一層大きく重要なものとなってきました。

そこで全国老人クラブ連合会と、三重県老人クラブ連合会が提唱して、昭和六十一年

きとして窯に入れて、千二百度前後の高温で何時間もかけて焼いていたきました。

土と炎の芸術といわれる陶芸品の製作。初めての体験で自らの手で作り、手掛けた作品がどのようなものになって焼きあがってくるだろうか？。できあがるまでの期待感と楽しみ、たとえその形がゆがんでいたり、自分の思っていた色でなくても、作るものには味わえない楽しさではないかと思いました。

山田町 矢田信夫

から毎年九月二十日を老人クラブ「社会奉仕の日」と定めて、全国一斉に実施することになりました。

従来小山田の老人クラブも地域毎には、神社や墓地その他公共施設の清掃美化奉仕に活動しておりますが、今回「社会奉仕の日」制定を契機に小山田老人クラブ連合会の行事として、毎年九月二十日は小山田地区市民センター周辺の清掃奉仕を実施しようとして、先の会長会で申し合わせました。

先づ第一回目の当日は、各地区老人クラブ役員が「社会



社会奉仕作業に汗を流す老人クラブの役員たち

奉仕の日」と書かれた黄色の旗を持って八時四十分地区市民センターに集合し、総員四十七名が奉仕の主旨と作業手順の伝達を受けた後、三班に組分けして九時から清掃作業を始めました。

第一班は松の木作りで、各自が思い思いの木に登り梢から順次下方へと、木鋏の音もかろやかに見事な枝振りの庭木に変えて、プロの庭師も顔負けの腕前で二本目にと移る。

第二班は雑草刈りで、研ぎすまされた鎌さばきもあざやかに、まだまだ若者には負けない自信で、見る見るうちに刈り取られてゆく。

第三班は竹箒や熊手を持って、松の木から出た生ごみや刈り取られた雑草その他を集めて運び捨て、きれいな場所が刻一刻と広がって行く。

十一時二十分過ぎ予定よりも早く、各班とも作業も終了し、全員の写真撮影も済ませて、美しくなった跡を見ながら、お互いに奉仕のよろこびをしみじみ味わった。

また山田の女子会員は、家庭で雑巾を作り各自持ち寄った約八十枚を、四老連、地区市民センター、山田公会所、加富神社などへ分配寄贈して大変よろこばれました。

待望の 構造改善センターが完成

このほど堂ヶ山町に、かねてより建設が進められていた堂ヶ山町構造改善センター（集会所）が完成し、去る三

月十五日関係者多数参加のもとに、盛大に落成式が挙行されました。

場所は堂ヶ山町神明社の前

堂ヶ山町自治会

で、敷地面積一〇八六㎡に建築面積一六三・九六㎡（約五十坪余）。国庫補助などを受けて総工事費二一五〇万円の

巨額を投じて、鉄骨平屋造りの近代的な立派な建物が建設されました。

堂ヶ山町は戸数一〇五戸、

人口は五〇〇人余。ほとんど

が農家で水田約二九町歩、茶園畑が六十町歩を有する。市内でも有数の茶の産地として知られています。すでに茶園畑には防霜設備などを施して早くから、よりよい伊勢茶の生産に取り組んでおり、この施設の完成に地元の人々のよろこびは大きく、ひとえに町民各位の願望とその熱意、さらに一致団結と協力の結果だと高く評価しています。

今後は各種団体が、これからの農業経営のあり方などに

広く活用されることを切望し

ます。



完成した構造改善センター

細い一本の線まですべて和紙をちぎって張りつけるちぎり絵技法。つまり絵の具に代わって和紙を用いて絵画をつくる「ちぎり絵」に取り組ん

でいる鹿間町の森川栄一さん（七三）。

すでに十年余りのキャリアと、作った作品は百数十点をくだらないというだけにごとな出来ばえだ。

以前通信制で生花を用いた「おし花絵」に挑戦したことがあるが、やはり月日の経過と共に色も自然にあせてくる何とかして変色しない方法はないか？とシリコンなどを使って試みた。

そこへある時、ちぎり絵の実演を見る機会に出会い、あまりのすばらしい出来ばえに深く感動した。和紙だけであれだけの絵ができるなんて、よし！自分なりに一つ挑戦してみようと躍動したのがこの道に入った動機だという。

絵の具は色の調合により自由な色が出せる。だがちぎり絵の和紙はそうもいかない。雲龍紙・板目・落水紙・天具紙・もみ紙と多数多様の和紙の特質を生かして張りつけていくのである。それだけに



ちぎり絵に励む森川栄一さん

材料の収集に一苦労。当初は教材のセット物を利用していたが、最近ではオリジナルな創作作品が多くなっている。

こうした作品は毎年、市老連の趣味の作品展や、さらに代表作として県作品展にも出品され入賞もしている。

果てしない趣味の世界、特に風景物を好みいつかは五十号位の大作に取り組んでみたいと意欲満々。

今日も余暇をみつけては、和紙とにらめっこする森川さんの顔には生きがいが感じられる。

この人尋ねと

②

和紙の収集に一苦労 ちぎり絵で描く大作もの

鹿間町 森川栄一さん



ちぎり絵で描いた風景画の作品

地区の人口 5,700人

(62年1月現在)

町別	世帯数	人口		計
		男	女	
山田町 (含老人ホーム)	775	879	1,113	1,992
西山町	156	306	326	632
小山町	142	299	312	611
内山町	53	107	122	229
六名町	45	104	107	211
堂ヶ山町	105	238	252	490
美里町	37	91	81	172
鹿間町	233	458	468	926
和無田町	100	212	225	437
計	1,646	2,694	3,006	5,700

編集後記

◎暖冬気味だった今年の冬にも、ようやく本格的な春のきざしが感じられるようになり、ここにやっと出来上がった地区広報第七号をお届けします。

◎今回は、地域開発や新生活運動に向けて動き出したご意見や、その感想についていろいろ感じられたことなどを中心に編集しました。
◎ご寄稿いただきました方々に厚くお礼申し上げますと共に、この地区広報が明日の「おやまだ」地区の発展につながる一助になればと思います。